

2023年版

きかんしデキマス



「じちろうネット」からダウンロードできます。

「じちろうネット」内の上部アイコン「ファイル管理」から。ファイル管理>自治労本部作成資料>各局作成資料>総合企画総務局>報道>カット集データ関連

機関紙づくりの必須アイテム

職場のカットが充実!

情報宣伝素材・カット集

2023年版の「きかんしデキマス」の発行です。4コマまんが付きの囲み記事から段物広告、組合活動から四季のカットなどなど、機関紙にすぐに使える素材がいっぱい。最終ページには機関紙をワンランクアップする「クリニック」のコーナーもあります。これからは、「自産自消(自治労の仲間の作品を自らの機関紙やビラに使うこと)」をめざしましょう。情報宣伝担当者とともに進化するカット集—これさえあれば、「きかんしデキマス」。

※今後のアップデートに役立てるため、「きかんしデキマス」の素材(カットや段物広告等)を使用した機関紙等がありましたら本部総合企画総務局(報道担当)まで送付をお願いします。

INDEX

- P.2-3 ●カコミ記事(4コマまんが入り)
- P.4-6 ●段物広告 ●囲み記事、段物広告の使用例
- P.7-8 ●職種別カット ●職場の仲間 ●団体交渉・集会 ●ビラ配り
- P.9-10 ●政策カット・環境・エネルギー・図形・キャラクター
- P.10-11 ●家庭・生活・くらし・ジェンダー平等
- P.12-13 ●職場グッズ・文具 ●スポーツ大会(野球、バレーボール)
- P.13 ●スポーツ大会(野球、バレーボール) ●その他スポーツ ●四季のカット
- P.14-15 ●四季のカット(動物、植物、風景、年中行事)
- P.16 ●機関紙クリニック

あつとほーむ...




● 職場環境

職場環境の改善において

人員削減・人員不足 ストレスの高まり、職 への希薄化などを背景 による過重労働や 場内コミュニケーション に「パワーハラスメント」 組織的な対応とルール 策定が必要である。 ハラスメントは人権 侵害との認識を持ち、 概念の共有化と認識を 労使で深め、対策に取 問題となっており、 スタッフが増加の一途 進行している。 また、住民からの方 概念の共有化と認識を 労使で深め、対策に取 問題となっており、 スタッフが増加の一途 進行している。 また、住民からの方 概念の共有化と認識を 労使で深め、対策に取 問題となっており、

人員確保



● 人員確保

人員確保の推進

長年にわたる人員削減 現場では常にギリギリ している。大規模災害 減が続けられてきた結 果、その間のコロナ禍へ への体制で業務を回 今、組合員からの要望 が最も多い課題でもあ 長年にわたる人員削減 現場では常にギリギリ している。大規模災害 減が続けられてきた結 果、その間のコロナ禍へ への体制で業務を回 今、組合員からの要望 が最も多い課題でもあ 長年にわたる人員削減 現場では常にギリギリ している。大規模災害 減が続けられてきた結 果、その間のコロナ禍へ への体制で業務を回 今、組合員からの要望 が最も多い課題でもあ

の対応など、人員不足 各職場における業務実 態と人員配置の状況を 公共サービス的重要 適切に把握し、公共サ 性が再認識されている ビスを支える体制の確 保を求めている。

●男女平等

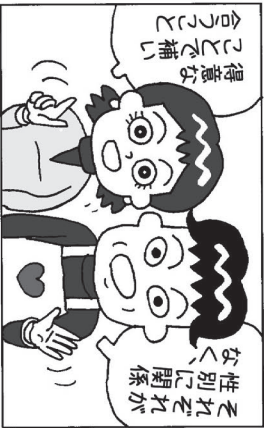
誰もが働きやすい職場をめざして

自治労は、男女平等 取り組みを推進して、画週間、男女雇用機会均等法が男女共同参 均等月間として設定し、通年課定位置付け、る。政府が男女共同参

ている6月には、自治 労も「男女平等推進月 間」として「男女平等 場を築くために不可欠 推進闘争」に取り組み、 各単組での要求書提出、 見休業（休暇）などを 取得しやすい環境づく りを進めていく。

できる人ができることを

By Yoshitiro



●格差社会

格差のない社会をめざして

職種や雇用形態、自 などのさまざまな違い に格差が生じている。 ず、同じ職場で働く仲 間として、雇用形態に 対して、非正規労働者 から、賃金や処遇など 格差が生じている。

が低賃金におかれてい る現状は、最も身近で 差別の取り扱いを許さず、不合理な格差の 解消や均等待遇に基づ くとされる。 正規・非正規を問わ ず、同じ職場で働く仲 間として、雇用形態に 対して、非正規労働者 から、賃金や処遇など 格差が生じている。

職種や雇用形態、自 などのさまざまな違い に格差が生じている。 ず、同じ職場で働く仲 間として、雇用形態に 対して、非正規労働者 から、賃金や処遇など 格差が生じている。



↓ 段物「広告」

自治研

とは、地方自治研究の略で、労働組合が主体的に地方行政や自らの仕事のあり方などを研究し、実践する活動です。「ごみの分別収集」や「急病人の休日・夜間診療」なども、自治労の自治研活動から全国に広がりました。あなたのアイデアを、この自治研活動に生かしてみませんか？



あなたの
アイデアが
地域を変える

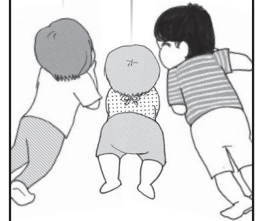
労働者の**雇用**を守ろう



自治労

自治労

男女平等の
地域社会づくり



自治労

地球温暖化



ストップ!

自治労

許さない

交付税を利用した
国の施策誘導は



自治労

戦争への協力は
断固反対



自治労

200万人
体制を実現しよう

就労看護職員



自治労

なぐせ!
官製ワーキングプア



自治労

自治体発・
国際協力で
Peace
平和外交

自治労

働き続けられる
介護職場に

生も生も
生も生も

自治労

公共サービスに必要な
人員を確保しよう

自治労

会計年度任用職員の
処遇改善や
安定雇用の
実現を

自治労

はじめよう！
みんなが
輝く職場づくり

自治労

ハラスメントのない
職場を

自治労

よりよい社会を
つくるには、
よりよい公共サービスを

自治労

地域分散型の
再生可能
エネルギー
促進を

自治労

公契約条例
制定を

自治労

労働組合は、働く人のサポート

私たち自治労は、全国の地方自治体や地域の公共サービスに関連する職場で働く仲間が集まる労働組合です。労働組合は、「働く人の、働く人による、働く人のための組織」です。身近な職場の課題から全国規模の課題まで、あなたの仕事の課題から全国規模の課題まで、あなたの仕事をサポートします。



● 段物「広告」・カット・カコミ・カコミ・4コマまんがの使用例



● 文字量の多い記事の中に2段広告がアクセントに

● イラスト入りのカコミでよりビジュアルに

● 4コマまんがで読ませるカコミ

● インパクトのある4段抜き広告

● 題字下の特等席は段物広告で

● 右下の死角に効果的な2段のカコミ広告

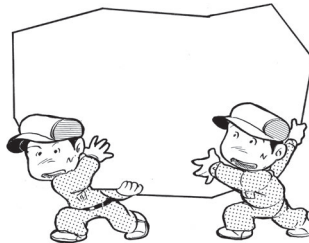
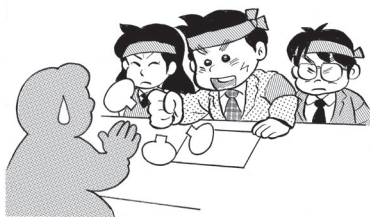
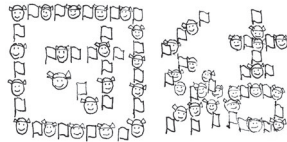
▼ ● 職種別カット



▼ ● 職場の仲間 ● 団体交渉・集会 ● ビラ配り



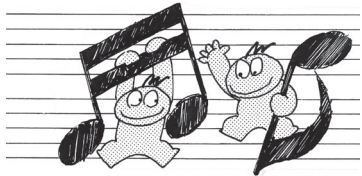
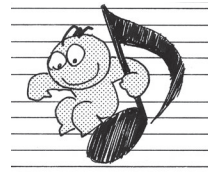
▼ ● 職場の仲間 ● 団体交渉・集会 ● ビラ配り



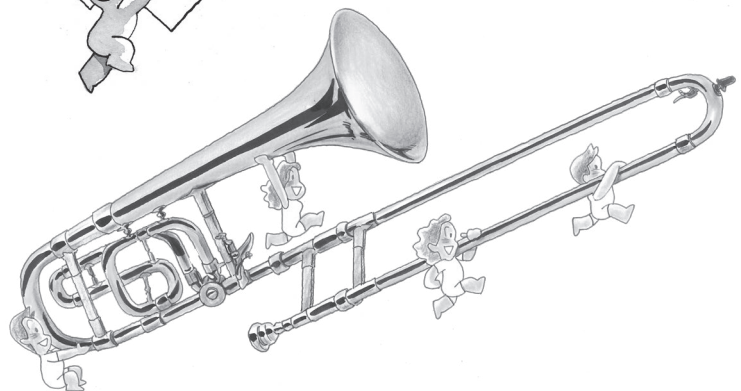
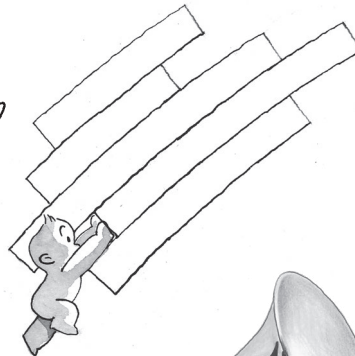
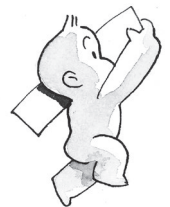
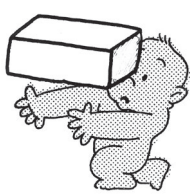
●政策カット・環境・エネルギー・図形・キャラクター



▼ ●政策カット・環境・エネルギー・図形・キャラクター



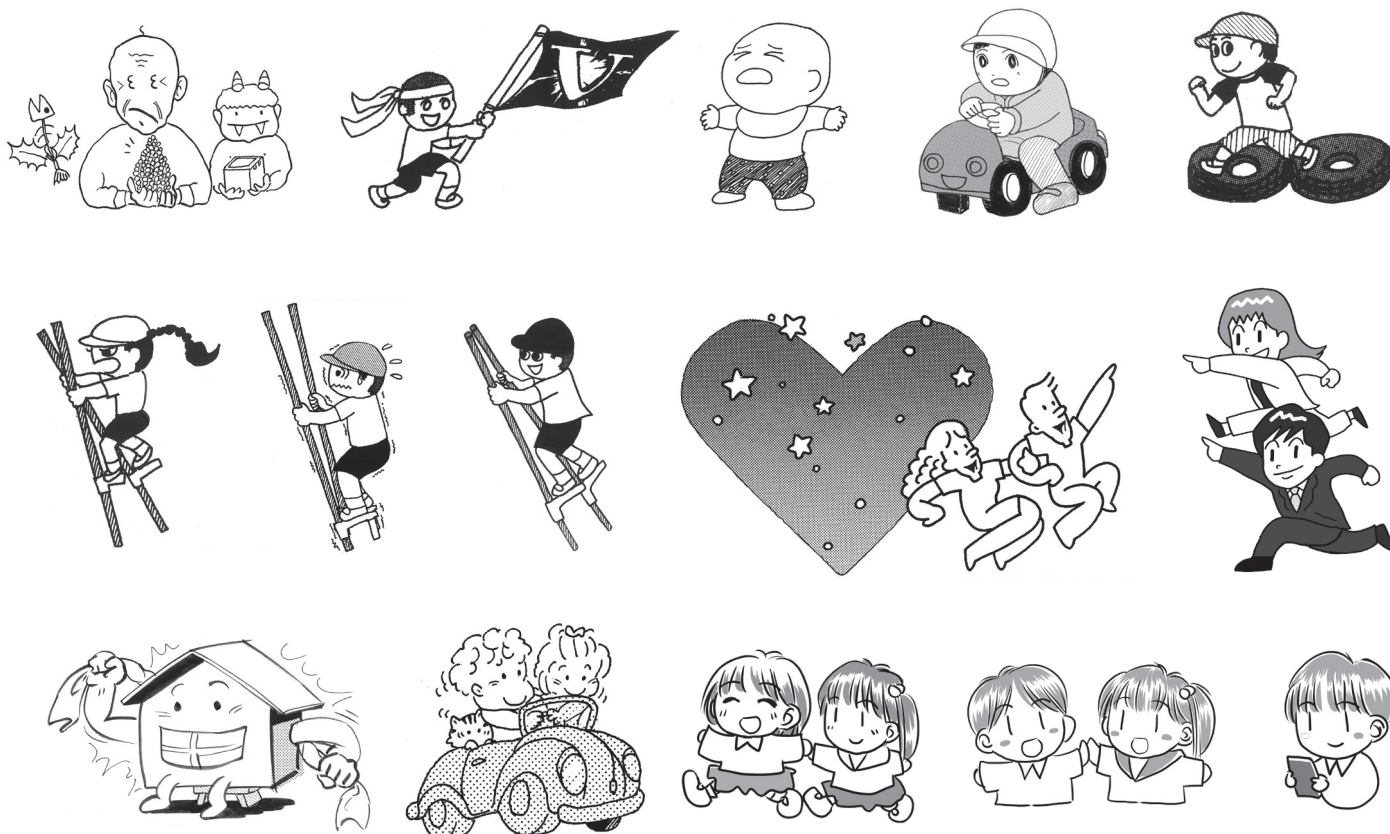
労働



▼ ●家庭・生活・くらし・ジェンダー平等



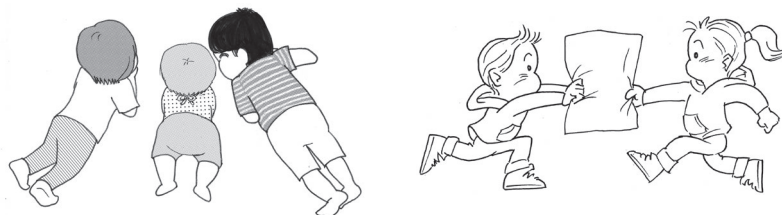
▼ ● 家庭・生活・くらし・ジェンダー平等



⇒ キーワード Gender Bias

ジェンダーバイアス

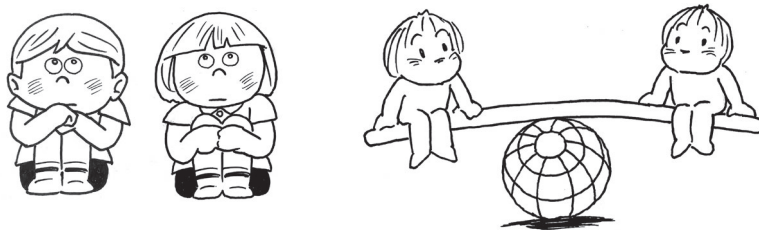
「女らしさ」「男らしさ」など、男女の固定的な観念に基づく偏見・差別。



⇒ キーワード Critical Mass

クリティカルマス

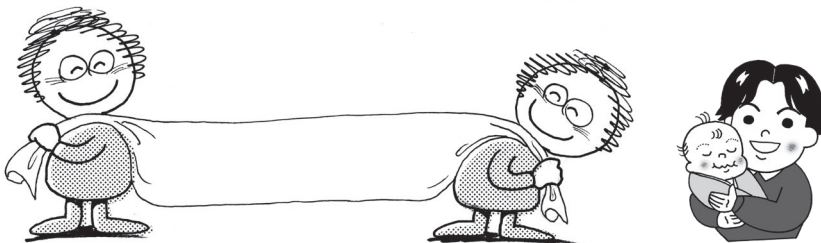
集団の中で特定のグループが影響力を行使しようようになる一定の割合のことを言う。女性参画の分野では30%と言われている。



⇒ キーワード Unconscious Bias

アンコンシャスバイアス

「無意識の偏見」のことを言い、「無意識のうちに偏ったものの見方」をしてしまうことや「思い込み」のこと。



⇒ キーワード Sexual Orientation and Gender Identity

SOGI

「性的指向(好きになる性)」、「性自認(心の性)」を表す言葉。異性愛の人も含む「すべての人が持っている属性」を表す略称。



⇒ キーワード Lesbian Gay Bisexual Transgender

LGBT

性的少数者を表す言葉で、頭文字の意味は以下のとおり。
 ● レズビアン……同性を好きになる女性
 ● ゲイ……同性を好きになる男性
 ● バイセクシュアル……両性を好きになる人
 ● トランスジェンダー……身体性の性や出生時に割り振られた性と心の性(性自認)が異なる人

▼ ● 職場グッズ・文具



▼ ● スポーツ大会(野球、バレーボール)



▼ ●スポーツ大会(野球、バレーボール)



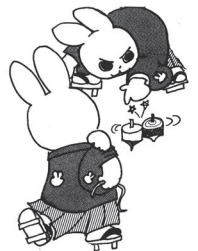
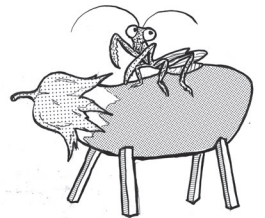
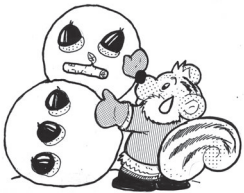
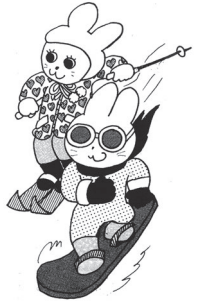
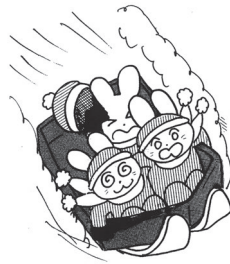
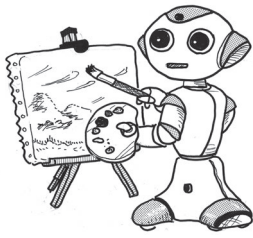
▼ ●その他スポーツ



▼ ●四季のカット(動物、植物、風景、年中行事)



▼ ●四季のカット(動物、植物、風景、年中行事)



●四季のカット(動物、植物、風景、年中行事)



まんが・カット制作者一覧

岩手 阿部正介 新潟 相沢まさ子 神奈川 吉岡篤史/湯澤満/大沼牧/川又はるみ 石川 井家利之 愛知 入江義寛
 大阪 辻よしはる/長島潮 兵庫 澤井康樹/池上晃/松本真紀子/大西英剛 香川 山下洋一 長崎 林田龍二 鹿児島 高橋誠

●機関紙による情報が、組合員にうまく伝えられているか。記事や見出し、レイアウトを少し工夫したい。そんな情報宣伝担当者の悩みを解決する「処方箋」を提供します。

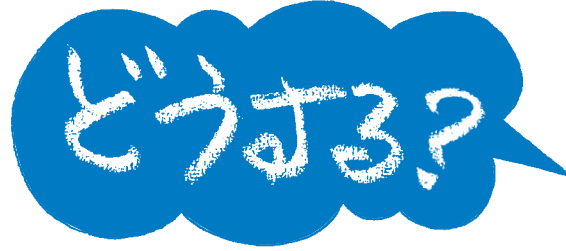
機関紙 **カリッと**

No.4

●記事を削って
校正する

2023年2月

私たちが作る機関紙の紙面は、掲載できる文字量が限られています。ですからさまざまな記事(情報)を読者に届けるためには一つひとつの記事を簡潔にまとめ、複数掲載しなければなりません。しかし、依頼して書いてもらった記事が予想以上に長かったということも。そんなときは、編集段階で短くまとめましょう。



依頼原稿が285字もオーバー!

① 2022年11月6日(日)に、大阪市内の大阪城公園太陽の広場に於いてアイウエオ労働組合が企画する文化行事のなかでも最大のイベントとなる「秋本番フェスタ2022」が開催された。当日は組合員や家族のみなさまの熱気のせい、秋にもかかわらずとてもアツい一日でした。この「秋本番フェスタ2022」のために、田中実行委員長のもと、実行委員による綿密な企画会議が行われ秋本番フェスタ当日の競技内容や任務分担、用具の作成に取り組んだ。

② 田中委員長や来賓の方々の挨拶の後に、坂本青年委員長による選手宣誓が行われました。今年は、A班チーム、B班チーム、C班チームでの対抗戦となり、優勝を目指して激闘を繰り広げての大接戦となった。第一競技の玉入れでは、お子さんのむじゃきな姿とは打って変わり大人たちの少しフェアプレイ精神にかける姿も見受けられ、第二競技の綱引きでは、圧倒的な力を見せつけてB班チーム、C班チームを完膚無きままに打ち破り、A班チームが勝利をたぐり寄せた。

③ 昼食休憩に入り弁当を食べ終わったお子さんたちが各チームが趣向をこらして作成したアトラク

④ 第三競技のトレジャーハンターのあとは優勝の行方をきめる第四競技のリレーで、途中バトン落下としてしまうハプニングもあり、抜きつ抜かれつの大接戦を制し勝利したのはB班チームだった。やはりリレーで勝利したのが決定的で、今年の総合優勝はB班チームに決定した。

⑤ 組合員と家族のみなさんががんばっていた姿や笑顔を見ることができたのが、実行委員のみなさんにとってはかけがえのない宝物になったことでしょう。

(15字×47行)

処方箋

右の組合イベントの報告記事を「記者ハンドブック」に沿って校正しながら短くまとめてみました。

アイウエオ労働組合は、11月6日に大阪城公園太陽の広場で秋のイベント「秋本番フェスタ2022」を開いた。当日は組合員やその家族が集い、さまざまな競技に興じる熱気あふれる一日となった。

田中実行委員長のあいさつと坂本青年委員長の選手宣誓のあと始まった競技。今年はA班チーム、B班チーム、C班チームと三つ

に分かれての対抗戦となった。午前の競技は玉入れと綱引きで、子どもたちがむじゃきにボールを投げる姿や、真剣に綱を引く大人たちの力あふれるプレーが見られた。

また昼食休憩時には趣向を凝らしたアトラクションが用意され、子どもたちが楽しんだ。

午後の競技はトレジャーハン

ターとリレー。特に総合優勝の行方をきめるリレーは、抜きつ抜かれつの大接戦となった。そんな混戦を制したのはB班チームで、同時に総合優勝も手にした。

組合員と家族が一緒になって競技に参加したり、応援したりと笑顔あふれるイベントとなった。

(15字×28行)

記事の文章をひとつずつ診察した検査結果

診察項目

- ① 日付には、年をまたいでの報告など特に必要がある場合以外は、年や曜日は入れない。
 - ② 場所は「大阪市内」あるいは「大阪城公園」のどちらか一つで良い。
 - ③ 場所を示す助詞では「〜に於いて」など文語的表現は避け、「〜で」と簡潔にする。
 - ④ 記事を短くする場合、余分な説明は省く。
 - ⑤ 「開催する」→「開く」。記事は誰もが読めるように書くのが基本。漢語も優しい表現に直す。
 - ⑥ 記事本題に入る前の部分は短くして良い。
 - ⑦ 実行委員会の活動や苦労話はこので書かず、こぼれ話的に別の記事に仕立てる。
 - ⑧ 一つ一つの競技の様子を書くことと、どんどん長くなるので、簡潔にまとめる。
 - ⑨ 記事では丁寧語や尊敬語は使わない。
 - ⑩ 「お子さんたち」→「子どもたち」「楽しんでいただいた」→「楽しんだ」
 - ⑪ ⑧と同様、簡潔にまとめる。
 - ⑫ 記事は客観報道である。書き手の主観は書かない。
- 〈まとめ〉
読者は短い記事を好む。どうしても長くなる記事は小テーマごとに分け何本かの短い記事にする。記事の文末は「だ、した」が基本。内容により「です、ます」を使用することもあるが、どちらにしても両方を混在させない。
- 記事は短い文の積み重ね。接続詞などでどどんつなげていくと主語と述語の関係がわからなくなるので避ける。